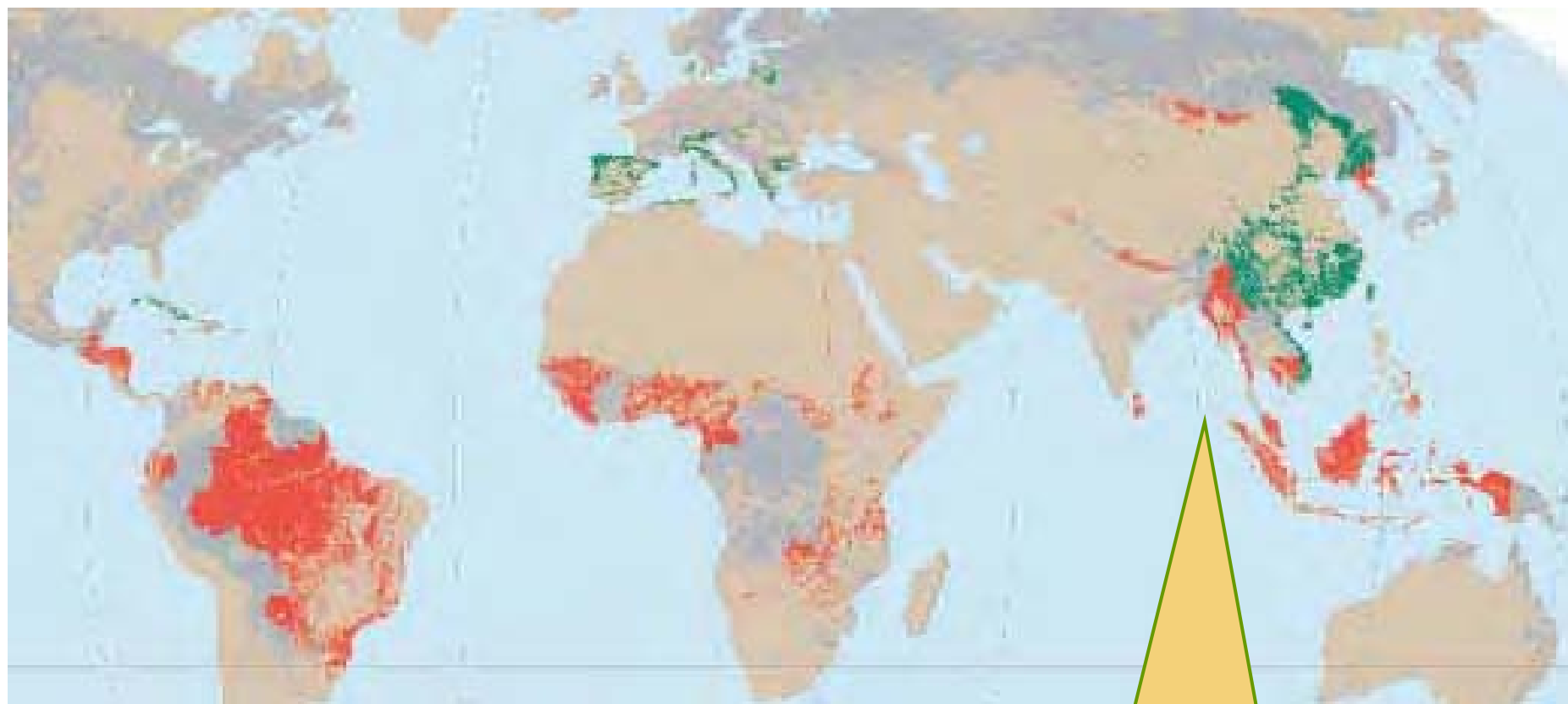





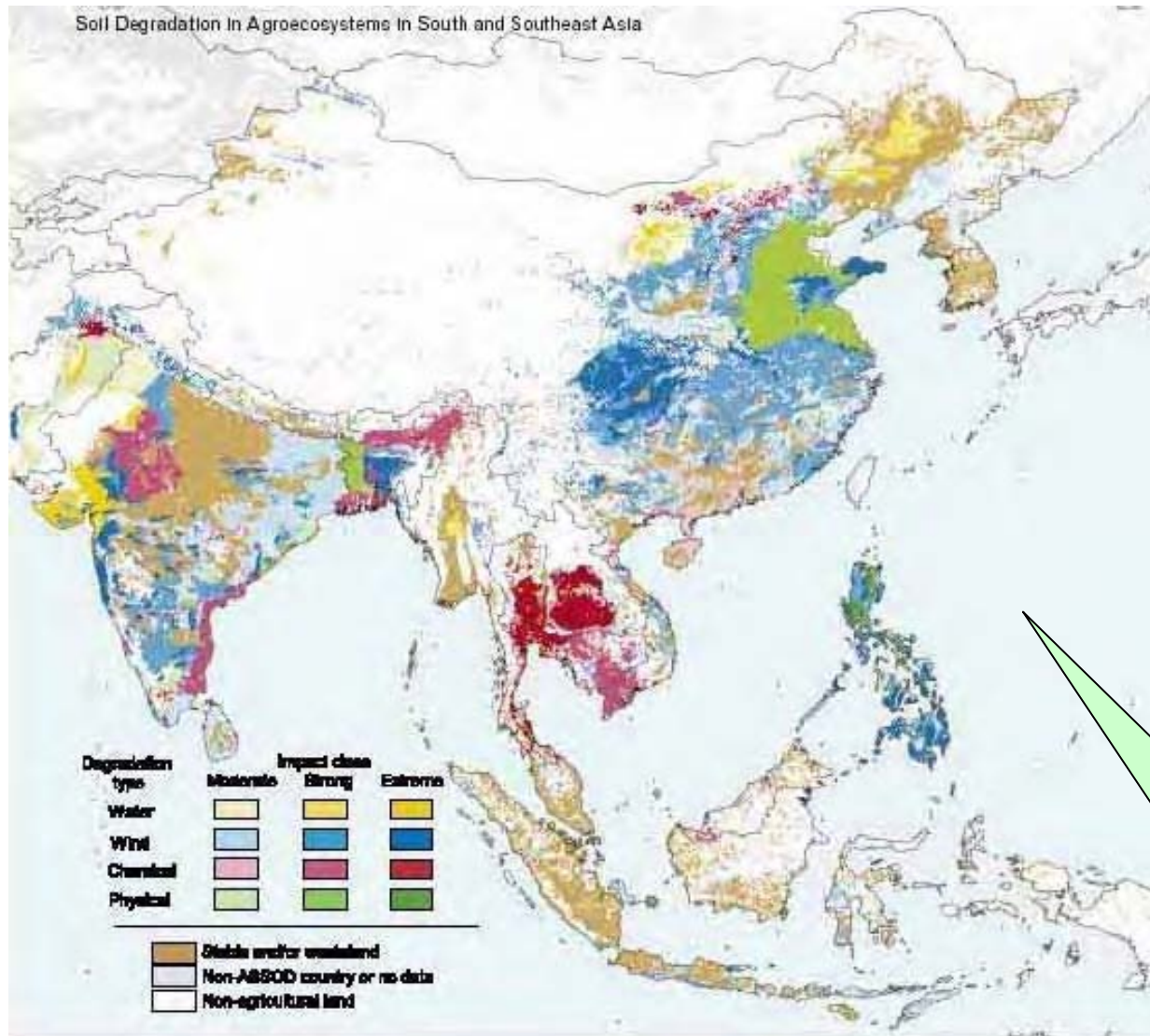
世界の森林地帯純変動(2000~2005年)



-  年間0.5%以上の減少
-  年間0.5%以上の増加
-  年間0.5%以内の増減

インドネシア、カンボジア、ミャンマー、北朝鮮、モンゴルなどで森林減少が顕著

砂漠化・土地劣化問題



砂漠化・土地劣化問題とは、植生に覆われた土地が不毛地になっていく現象を指す。今日問題となっている砂漠化・土地劣化問題の多くは、人間の活動が原因となる人為的な行為によって引き起こされたものである。砂漠化や土地の劣化は、気候変化の原因ともなる。土壌など地表の構造が崩れるなどの原因となることから、植生の復活が困難になる。

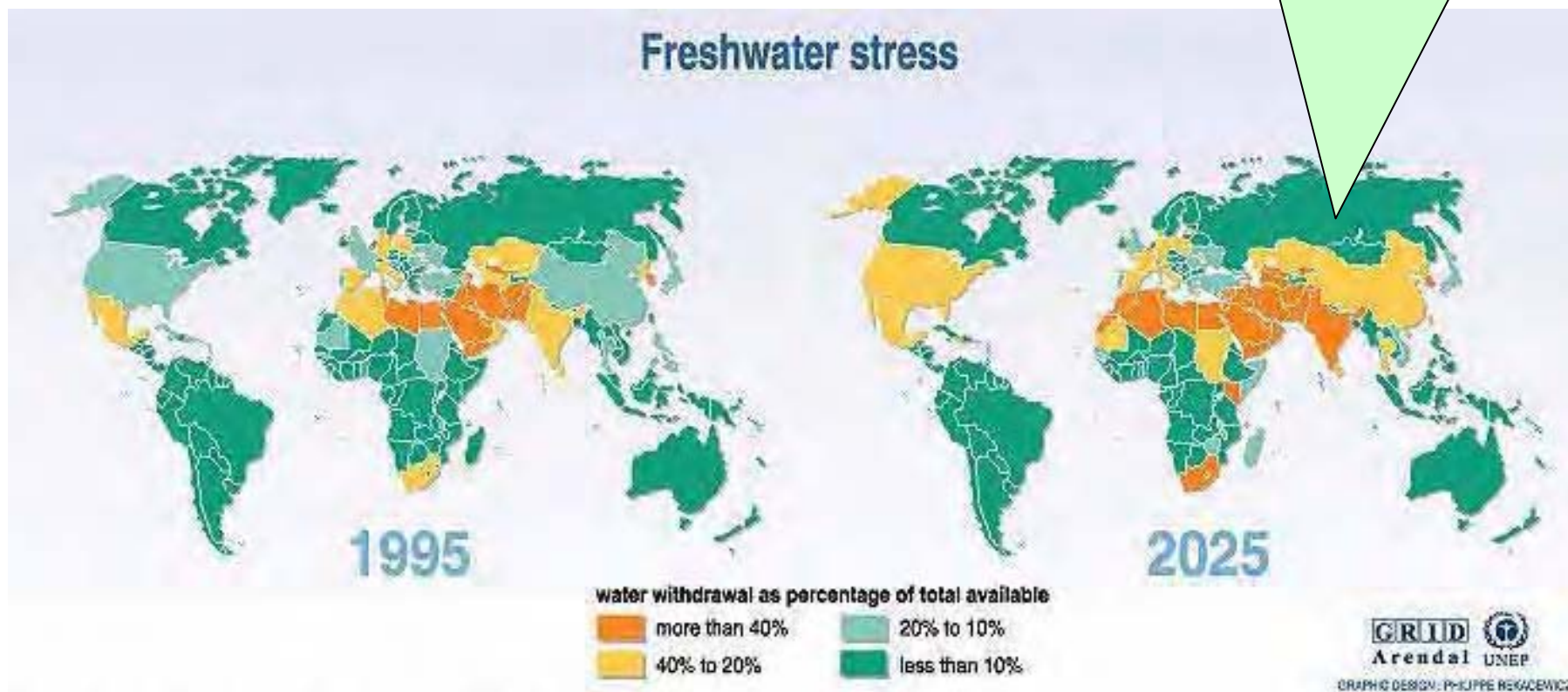
アジア地域の中で、砂漠化・土地の劣化が著しいのは、牧畜・降雨依存型農業・灌漑農業の盛んな半乾燥地帯であり、その中でもとりわけ途上国で、砂漠化・土地劣化問題の多くが発生している。

淡水資源の需要と供給のバランスの予測

淡水資源をめぐる4つの問題

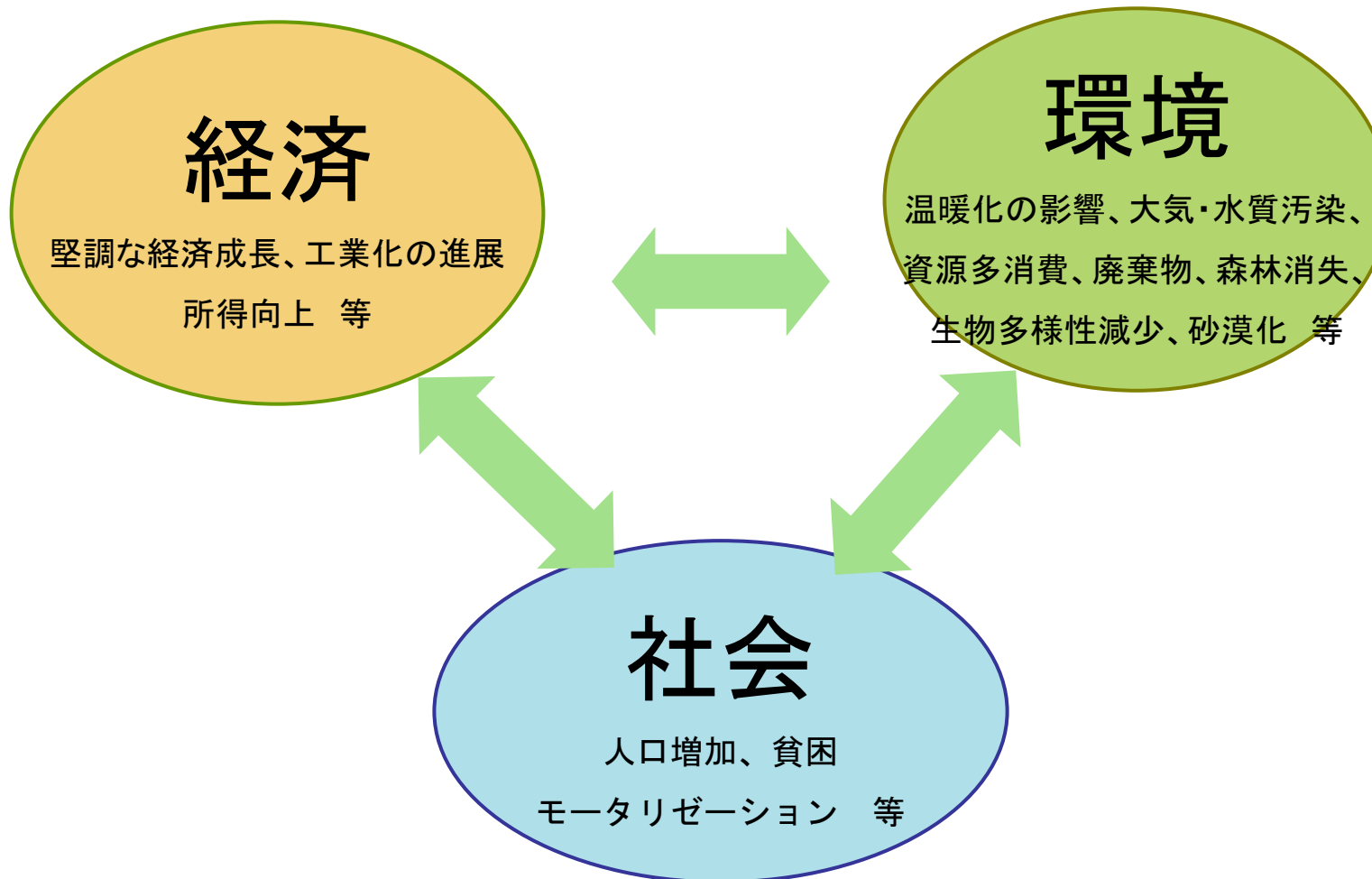
安全な飲み水を得ることができない多数の人々
地下水の過剰な汲み上げによる農耕地の不毛化
水資源の過剰利用と汚染による生物多様性の低下
水資源の不足による地域紛争

アジア地域では、特に人口の増加が見込まれている国々で、現在すでに顕在化している諸問題が拡大していくことが予測される。また過剰な淡水資源の摂取や地下水への依存が、他の環境問題に連鎖的に拡大していくことが危惧される。



Source: Global environment outlook 2000 (GEO), UNEP, Earthscan, London, 1999.

アジアにおける経済・人口・環境の関係



地球規模の持続可能性に大きな影響

持続可能なアジアに向けた効果的対応が急務